

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人文学部※ ¹	宗教学科	夜・通信	14	0	1	15	13	
	国文学国語学科	夜・通信			1	15	13	
	歴史文化学科	夜・通信			2	16	13	
	心理学科	夜・通信			4	18	13	
	社会教育学科	夜・通信			3	17	13	
	社会福祉学科	夜・通信			4	18	13	
国際学部※ ¹	韓国・朝鮮語学科	夜・通信	8	0	0	22	13	
	中国語学科	夜・通信			0	22	13	
	英米語学科	夜・通信			0	22	13	
	外国語学科	夜・通信			0	22	13	
	国際文化学科	夜・通信			0	22	13	
	日本学科	夜・通信			0	22	13	

人間学部※ ²	宗教学科	夜・通信	11	4	0	15	13	
	人間関係学科 臨床心理専攻	夜・通信			4	19	13	
	人間関係学科 生涯教育専攻	夜・通信			3	18	13	
	人間関係学科 社会福祉専攻	夜・通信			4	19	13	
文学部※ ²	国文学国語学科	夜・通信		0	7	18	13	
	歴史文化学科	夜・通信			10	21	13	
国際学部※ ²	外国語学科 英米語専攻	夜・通信		8	0	19	13	
	外国語学科 中国語専攻	夜・通信			0	19	13	
	外国語学科 韓国・朝鮮語専攻	夜・通信			0	19	13	
	外国語学科 スペイン語・ブラジル ポルトガル語専攻	夜・通信			0	19	13	
	地域文化学科	夜・通信			0	19	13	
体育学部※ ³	体育学科	夜・通信	4	14	0	18	13	
医療学部※ ³	看護学科	夜・通信	0	6	10	16	13	
	臨床検査学科	夜・通信			11	17	13	
(備考)								
※ ¹ 新設（2024 年度以降入学生対象）。								
※ ² 募集停止（2023 年度以前入学生対象）。								
※ ³ 教育課程の変更途上であるが、新旧課程同一の科目のみを記載している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：大学ホームページ

<https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当する学部はありません。

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：学校法人天理大学ホームページ https://gh.tenri-u.ac.jp/org/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	宗教法人 部長	2023. 4. 1 ～ 2026. 3. 31	国際交流・ 海外伝道要員育成
非常勤	民間企業 取締役社長	2023. 4. 1 ～ 2026. 3. 31	経営企画・ マーケティング
非常勤	医学博士	2023. 4. 1 ～ 2026. 3. 31	教学マネジメント・ マーケティング
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業担当者は、授業科目ごとに「シラバス（講義要綱）作成の手引き」(https://www.tenri-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/d38d61d6a3263ffc84d9c72b0fe1795c.pdf)に沿ってシラバスを作成し、その項目内容は学部・学科の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針との整合性・一貫性を担保することを求めている。 例年、次年度の授業担当者が決まった後、シラバスを入力するためのシステム上の諸設定を12月中に行い、1月初旬から2月中旬までを入力期間としている。その後、学部長、学科主任等を中心とした第三者による内容のチェックを行った上、3月中旬に大学ホームページで一般に公表している。	
授業計画書の公表方法	公表方法：大学ホームページ https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/#toc2
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに成績評価方法（平常点、授業内試験、定期試験、レポート、その他の評価項目）と成績評価基準を明示しており、提出されたレポートや試験答案等を成績評価基準にもとづき、厳格かつ適正に評価し単位を与えている。 また、各授業について、欠席時数が当該授業科目の全授業時数の3分の1（ただし、医療学部の専門教育科目のうち、実験・実習科目に限り5分の1）を超える場合は、単位は付与されないことになっており、“H”（不足）という評語で成績評価される。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において、個々の学生の成績が学科等の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、「天理大学GPAに関する規程」を制定し、GPA制度を導入している。

成績（評語）に対応したGP（下表を参照）を、各科目の単位数に乗じて得た値の合計を登録科目の総単位数で割って算出した数値の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値をGPAとしている。

評語	GP
A+	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
F・K（欠席）・H（不足）	0.0

【算出式】

$$\frac{(A+の単位数 \times 4) + (Aの単位数 \times 3) + (Bの単位数 \times 2) + (Cの単位数 \times 1)}{\text{総履修科目単位数}}$$

入学時に配付する履修に関する情報を取りまとめた冊子（履修要覧）に「GPA制度について」のページを設け、GPA制度による上限緩和の概要、算出対象科目、算出式等を記載し、周知している。また、この値が1.5未満の学生に対して、学期ごとにクラス担任から学業の建て直しの指導を行い、報告書（学習指導記録）を作成し、保存している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

公表方法：大学ホームページ
<https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学部、学科、専攻別にディプロマ・ポリシーを定め、それを具現化するためのカリキュラム・ポリシーに基づいて、カリキュラムツリーを作成し、さらにはカリキュラムマップにおいてディプロマ・ポリシーとの関連を示し、ホームページで公表している。また、各授業科目のシラバスでは、授業科目とディプロマ・ポリシーとの関連を明示している。

卒業に必要な単位の要件は「天理大学履修規則」に規定している。また、「各学部の専門教育科目の履修に関する規程」において、卒業論文等の卒業に必要な科目の履修に前提条件を設けている他、詳細な要件等を定めている。

卒業の判定は、2月下旬に各教授会の審議を経て、学長が議長となる卒業資格判定会議の席上で各教授会の審議結果を報告し、学長が卒業を認定する。ただし、医療学部の教授会審議は、国家試験受験の関係で1月下旬となっている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

公表方法：大学ホームページ
<https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/#toc2>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人 天理大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gh.tenri-u.ac.jp/info/
収支計算書又は損益計算書	https://gh.tenri-u.ac.jp/info/
財産目録	https://gh.tenri-u.ac.jp/info/
事業報告書	https://gh.tenri-u.ac.jp/info/
監事による監査報告(書)	https://gh.tenri-u.ac.jp/info/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 学校法人天理大学事業計画 対象年度: 令和7年度)
公表方法: 学校法人ホームページ https://gh.tenri-u.ac.jp/info/
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/assessment/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=12&page=2#result1

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/) (概要) 宗教や思想などの精神文化への知識と理解を基礎に人文学の知的体系の成果を教授することにより、他者に献身できる教養と態度を身につけ、現代社会の絶え間ない複雑な環境変化や社会的課題に対して、主体的に判断でき能動的に行動できるとともに、国内外で「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神の具現化に資する人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 人と人とかかわるなかであらわれる事象について、人文学の諸領域のなかでもとくに宗教学、国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学、心理学、社会教育学、社会福祉学の側面から捉えるための基礎的な理論や専門的な知識、技術とその意義を学び、主体的に考え、社会に貢献する人間性を備えた人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 学位授与方針に掲げた学習成果をもたらすために、次のような教育課程を編成します。学士教育課程に必要な基礎的な知識やスキルを修得するために初年次教育科目を配置し、専門教育科目を修得する上で求められる基本的な知識やスキルを修得するための一般教育科目や天理スピリッツ科目等の総合教育科目と、人文学部の各学問領域に関する基礎的な知識から発展的内容を体系的に教授する専門教育科目を配置します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 人文学部は次のような人を広く求めています。 ①教育目標を理解し、高等学校の教育課程で修得する基礎的な学力とそれを活用する力を有している人 ②人文学部で学ぶ領域への深い関心と一定の知識を備え、知的体系を意欲と主体性を持って学ぶことができる人 ③多様な他者との相互理解に努め、積極的に社会とかかわる意欲をもつ人 ④現代社会におけるさまざまな課題に対して、関心を持っている人 ⑤自己実現への強い意志がある人

学部等名 国際学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/) (概要) 現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのために、国際人に必須の高度な語学力の修得に重点を置く「韓国・朝鮮語学科」「中国語学科」「英米語学科」「外国語学科」と、現代社会の仕組みと国内外の文化の多様性について学際的に学び、その多様性がおりなす共生社会に自ら参加して行動できる力を養う「国際文化学科」、確かな日本語運用能力を基礎として、世界のなかの日本の社会・文化について学び、その学びを社会や地域で活用する力を養う「日本学科」の 5 学科を設ける。利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) グローバル化が進む国際社会および地域社会に対する知識と思考力、外国語および日本語によるコミュニケーション能力と表現力を身につけ、グローバル・ローカル双方の視野から異文化を理解し、多文化共生社会の実現に資する人材を育成することを目指す。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 世界各地の言葉や文化に対する知識と教養を身につけ、国際社会および地域社会が抱える複合的な問題を理解し、分析する力を養うための講義科目、そして語学力とコミュニケーション力を養うための外国語科目、さらに主体的に思考し行動する力を養うための演習・実習科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究に取り組むことで、国内外の問題を分析、考察し、その考察結果を人に伝える表現力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 国際学部は次のような人を広く求めています。 ①本学の教育理念である「国際性」に関心がある人 ②外国語、異文化に関心がある人 ③外国語のコミュニケーション力を身につけ、国際社会・地域社会で活躍したい人 ④他者の多様性に関心をもち、それを理解し尊重しようとする姿勢をもつ人 ⑤社会活動・課外活動などの分野で積極的に取り組んだ経験を有し、異文化コミュニケーション能力と学際的な知識を身につけ、それらの分野で活躍したい人

学部等名 体育学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/)
(概要) 「陽気ぐらし」世界の建設に寄与せんとする建学の精神を具現化するために、「他者への献身」の精神を涵養し、身体についての科学的な認識を深めるとともに、国際的な視野に立ってスポーツの意義や可能性を探究することのできる以下のような人材を育成することを目的とする。 ①スポーツにおける高度な競技能力・指導能力を有する人材 ②子ども達への深い理解をもった教育能力の高い教員となる人材 ③スポーツの新たな可能性を追求し、スポーツ文化の創造に寄与できる人材 ④人々の健康の維持・増進に貢献できる人材 ⑤日本の伝統文化である武道を正しく継承し、世界に発信できる人材
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 体育、スポーツに関する基礎的・専門的な知識・技能を修得し、体育、スポーツ、武道、健康に係わる人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 体育、スポーツ、武道、健康に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業研究に取り組むことにより各領域における課題を認識し解決する力を修得することのできるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 体育学部は次のような人を広く求めています。 ①高等学校までの学習や生活を通じて、体育、スポーツ、武道、健康に関心を持ち、体育学部で学修するための基礎的な学力が備わっている人 ②基礎的な運動能力を備えている人 ③自己の競技力をさらに高めるための特技能力が優れている人 ④さまざまな面において自己を高める意志、意欲をもっている人

学部等名 医療学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/)
(概要) 人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の理念を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を修得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)

(概要) 人に尽くすことを自らのよこびとするという天理教の理念を体現できる人として、次の3つの力を修得した人材を育成することを目指します。 ①人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心をもった人間関係能力 ②医療に関わる専門性の高い技術・技能に裏付けられた実践力 ③真摯に科学する精神で自律した探究を続ける生涯学習能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 人に尽くすことを自らのよこびとするという天理教の理念を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を習得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を養成することを目的としています。現在、多様な専門性をもった沢山の職種が協力し連携して保健医療福祉の目的の達成のための活動を行うことが求められています。卒業後、こうした多職種協働の保健医療福祉チームの一員として専門的能力を発揮できるよう、大学4年間の学修を通して基礎的な力の育成ができるように科目群を配置している。異なる学問分野の専門教育と医療人としての社会人基礎力の育成を目指す2学科の学生が共通して学ぶ科目群、それぞれの専門科目群をしっかりと学修して積み上げていくために学年毎の学習進度を考慮したカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 高等学校までに学習した基礎的な学力を備えている人、文章の読解力と記述力、自己の考えを発言する力をもっている人を広く求めています。 ①専門領域のみならず社会人としての豊かな知識を身につけたい人（知識） ②真摯に科学する精神に裏打ちされた医療に関わる専門性の高い技術や研究する能力を身につけたい人（技術） ③人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を身につけたい人（態度） ④将来医療者として社会に貢献したいという志と、幅広い教養や深い専門的知識と豊かな人間性を兼ね備えた医療人になるという強い意志をもっている人（意欲）

(2023 年度以前入学生)

学部等名 人間学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/)
(概要) 人間学部は、「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神を人間の全体性回復に生かし、細分化した現代の学問体系を見直すことを理念として設立されている。そのため、宗教学的・哲学的探求を通して全体性の回復を目指す宗教学科と、臨床心理・生涯教育・社会福祉の3分野にわたる実践的なアプローチを通してその回復を目指す人間関係学科の2学科を開設し、建学の精神を具現化するため、国の内外で「他者への献身」に邁進できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 人間関係の中で生きることを意味を宗教、臨床心理、生涯教育、社会福祉の側面から捉えるための基礎的な理論や専門的な知識や技術を学び、主体的に考え、社会に貢献する人間力を備えた人材を育成することを目指します。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 人間学に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 貢献性（他者への献身）をモットーとし宗教を深く理解して人間を根源的に見つめる人材および現代社会の諸問題に積極的に取り組む人材を育成するという目標のもとに人生と社会に広い関心と好奇心をもつ人、人との出会いを求め人の役に立ちたいと考える人を広く受け入れます。

学部等名 文学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/)
(概要) 他者理解の基礎であり未来に伝えてゆくべき遺産である言語・文学・歴史・文化を対象として、広く深い学識、真実を探究する方法、自ら学び伝える力を養い、それとともに、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに世界に貢献する資質を身につけさせる。そのため、日本語・日本文学を研究し、また日本語表現能力を磨く国文学国語学科と、歴史・考古・民俗資料を研究し活用する歴史文化学科の2学科を設ける。かくて文学部は、国際的視野をもって「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学の専門的な知識とその意義を理解し、それら諸学がもたらす知見を自らの人間性を高める糧とすることのできる人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学に関する各学科に共通する知識の修得を基礎とし、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/)
(概要) 高等学校までに学習した基礎的な学力を備えている人、文学部で学ぶ領域への深い関心と一定の知識をもっている人、自己実現への強い意志がある人を広く受け入れます。

学部等名 国際学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/) (概要) 現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのため、国際人に必須の高度な語学力の習得に重点を置く「外国語学科」と、地域言語を習得しながら、自ら参加し行動する実践教育を通して、広域地域における異文化共存についての理解に重点を置く「地域文化学科」の2学科を設ける。かくて国際学部は、利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 国際情勢に対する基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力などを身につけ、グローバルな視野から異文化を理解しようとする人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 国際的な視野、国際交流・協力の姿勢および語学を学び、年次の進級とともに、講義・演習・実習・海外研修により、学科・専攻の専門性を深める科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各文化・言語地域における問題を分析し論考する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/) (概要) 「宗教性」「国際性」「貢献性」を意識して世界各地の言語や文化を学ぶことにより、視野を広げて、自分を向上させ、積極的に行動することを目指す人を広く受け入れます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/organization/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
人文学部	－	33 人	17 人	3 人	1 人	0 人	54 人
国際学部	－	28 人	13 人	9 人	0 人	0 人	50 人
体育学部	－	8 人	15 人	2 人	1 人	0 人	26 人
医療学部	－	17 人	8 人	10 人	12 人	3 人	50 人
おやさと研究所		2 人	1 人	1 人	0 人	0 人	4 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		242 人					242 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページ https://www.tenri-u.ac.jp/education/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
「第三者によるシラバスチェック」「全専任教員へのFD実施」「オフィスアワーの設定」は全学的に実施している。「学生による授業評価の活用」については、「学生による授業評価」アンケート結果に基づき「教員顕彰」（ベストティーチャー賞）をおこなっている。 FD オープンクラスウィークは、一定の実施期間を設け、授業参観報告書と担当者コメントは他の教職員が閲覧することも可能となっている。また、ティーチング・ポートフォリオを導入し、授業改善に繋げる取り組みを行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

[illegible]

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間学部	75 人 (100%)	5 人 (6.7%)	61 人 (81.3%)	9 人 (12.0%)
文学部	50 人 (100%)	0 人 (0.0%)	41 人 (82.0%)	9 人 (18.0%)
国際学部	212 人 (100%)	1 人 (0.5%)	167 人 (78.8%)	44 人 (20.8%)
体育学部	174 人 (100%)	6 人 (3.5%)	153 人 (87.9%)	15 人 (8.6%)
医療学部	96 人 (100%)	5 人 (5.2%)	87 人 (90.6%)	4 人 (4.2%)
合計	607 人 (100%)	17 人 (2.8%)	509 人 (83.9%)	81 人 (13.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) (主な進学先) 天理大学大学院、奈良県立医科大学大学院、大阪大学大学院、奈良教育大学大学院、兵庫教育大学大学院、畿央大学 (主な就職先) 大東建託(株)、大和ハウス工業(株)、UBE(株)、積水メディカル(株)、(株)共和、川上産業(株)、住友電気工業(株)、DMG森精機(株)、近畿日本鉄道(株)、ANA関西空港(株)、(株)日伝、トヨタモビリティパーツ(株)、(株)ザナックス、(株)ニトリ、(株)徳島銀行、兵庫信用金庫、明治安田生命保険相互会社、エスリード(株)、(株)レンタルのニッケン、(株)星野リゾート、リゾートトラスト(株)、兵庫県 教員(保健体育)、(株)メディック、(株)ビー・エム・エル、(公財)天理よろづ相談所病院、総合警備保障(株)、(独)駐留軍等労働者労務管理機構、(一社)国際交流サービス協会、奈良県庁、尾道市役所、上越市役所、東京消防庁、大阪市消防局、奈良県警察本部、大阪府警察本部 (備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
人間学部	94 人 (100%)	73 人 (77.7%)	8 人 (8.5%)	12 人 (12.8%)	1 人 (1.0%)
文学部	62 人 (100%)	47 人 (75.8%)	5 人 (8.1%)	8 人 (12.9%)	2 人 (3.2%)
国際学部	241 人 (100%)	194 人 (80.5%)	9 人 (3.7%)	35 人 (14.5%)	3 人 (1.2%)
体育学部	202 人 (100%)	170 人 (84.2%)	6 人 (3.0%)	23 人 (11.4%)	3 人 (1.5%)
医療学部	107 人 (100%)	93 人 (86.9%)	7 人 (6.5%)	6 人 (5.6%)	1 人 (0.9%)
合計	706 人 (100%)	577 人 (81.7%)	35 人 (5.0%)	84 人 (11.9%)	10 人 (1.4%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスは、授業の到達目標、授業の概要、ディプロマ・ポリシーとの関連、授業の方法、準備学修(予習・復習)・時間、授業計画、成績評価方法、成績評価基準、課題のフィードバック方法、テキスト、参考文献、履修上の注意等、の事項で構成している。 項目内容は学部・学科・専攻の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針との整合性・一貫性を担保することを求めている、「シラバス（講義要綱）作成の手引き」に沿って作成している。 また、学部長、学科および専攻主任を中心とした第三者によるチェックを行い、3月中旬にホームページで公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 試験やレポートなどにより成績評価を行うが、「シラバス（講義要綱）作成の手引き」に基づいて、授業科目毎に成績評価基準および成績評価方法を作成し、シラバスに明示している。 学部、学科、専攻別にディプロマ・ポリシーを定め、そのポリシーに則り各学科・専攻別にカリキュラムツリーを作成し、さらにはカリキュラムマップにおいてディプロマ・ポリシーとの関連を示し、ホームページで公表している。 また、各授業科目のシラバスにおいては、その授業科目とディプロマ・ポリシーとの関連を明示している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
2024 年度以降入学生				
人文学部	宗教学科	124 単位	有	49 単位
	国文学国語学科	124 単位	有	49 単位
	歴史文化学科	124 単位	有	49 単位
	心理学科	124 単位	有	49 単位
	社会教育学科	124 単位	有	49 単位
	社会福祉学科	124 単位	有	49 単位
国際学部	韓国・朝鮮語学科	124 単位	有	49 単位
	中国語学科	124 単位	有	49 単位
	英米語学科	124 単位	有	49 単位
	外国語学科	124 単位	有	49 単位
	国際文化学科	124 単位	有	49 単位
	日本学科	124 単位	有	49 単位
体育学部	体育学科	124 単位	有	49 単位
医療学部	看護学科	124 単位	有	49 単位
	臨床検査学科	124 単位	有	49 単位
2023 年度以前入学生				
人間学部	宗教学科	124 単位	有	48 単位
	人間関係学科	124 単位	有	48 単位
文学部	国文学国語学科	124 単位	有	48 単位
	歴史文化学科	124 単位	有	48 単位
国際学部	外国語学科	124 単位	有	48 単位
	地域文化学科	124 単位	有	48 単位
体育学部	体育学科	124 単位	有	48 単位
医療学部	看護学科	124 単位	有	48 単位
	臨床検査学科	124 単位	有	48 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ

<https://www.tenri-u.ac.jp/about/campus/somanouchi/>

<https://www.tenri-u.ac.jp/about/campus/taiiku/>

<https://www.tenri-u.ac.jp/about/campus/bessho/>

<https://www.tenri-u.ac.jp/about/campus/club/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人文	宗教	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	国文学国語	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	歴史文化	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	心理	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	社会教育	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	社会福祉	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
国際	韓国・朝鮮語	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	中国語	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	英米語	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	外国語	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	国際文化	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
	日本	760,000 円	100,000 円	270,000 円	教育設備充実費 270,000 円
体育	体育	800,000 円	100,000 円	300,000 円	教育設備充実費 300,000 円
医療	看護	1,090,000 円	100,000 円	575,000 円	教育設備充実費 575,000 円
	臨床検査	1,090,000 円	100,000 円	575,000 円	教育設備充実費 575,000 円

※ 教育設備充実費については、人文学部、国際学部および体育学部は入学初年度に50,000円減額、医療学部については入学初年度に100,000円減額している。

※ 2024年度入学生

人文学部・国際学部の授業料は760,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は270,000円である。
体育学部の授業料は800,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は300,000円である。
医療学部の授業料は1,090,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は575,000円である。

※ 2023年度入学生

人間学部・文学部・国際学部の授業料は760,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は270,000円である。
体育学部の授業料は800,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は300,000円である。
医療学部の授業料は1,090,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は575,000円である。

※ 2022年度入学生

人間学部・文学部・国際学部の授業料は760,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は270,000円である。
体育学部の授業料は 800,000 円、入学金は 100,000 円、教育設備充実費は 300,000 円である。
医療学部については2023年4月に天理医療大学と合併したため、記載はなし。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の修学目標が達成できるように支援体制を整備し、各部局が連携し、教職員が一体となって取り組んでいる。また、クラス担任制度を設け、連続で授業を欠席した学生に対する対応を行っている。 学生が安心して教育を受けられるように奨学金制度を整備するとともに、障がいのある学生を支援するため「天理大学特別支援の基本方針」を定め支援態勢を充実させている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 入学直後から未来を見すえた支援を行っており、1年次から「キャリアプランニング」を開講し、さらに年2回のワークショップ型進路ガイダンスを開催している。4年間を有意義に過ごすためのサポートを早期から開始し、グループワークなどの豊富な実践機会を通じ、夢の実現に向けた段階的なステップアップを支援している。少人数制のもとで学生一人ひとりの個性や特性を把握しながら「前に踏み出す力」・「考え抜く力」・「チームで働く力」など今後の人生でも役立つ「社会人基礎力」を育成している。 また、キャリア支援ルームでは、専門資格を持つキャリアコンサルタント・CDAを招き、就職活動をサポートしている。 キャリア教育では、4年間の大学生活の有効な過ごし方を理解させたり社会人基礎力を身につけさせたりするために、1年次生から4年次生まで対象のキャリア科目を設定している。 進路支援としては、キャリア支援課が中心となり、進路相談、企業等の求人情報の提供、ブレースメントガイド等の冊子作成、進路・就職ガイダンスや業界研究セミナーの実施、キャリアアップ講座の開講、学内企業説明会の開催、インターンシップへの参加促進、キャリア支援ルームでのキャリアカウンセリングなどを行っている。また、3・4年次生対象だけでなく、1・2年次生対象の進路・キャリアガイダンスも展開している。 障がいのある学生に対しては、窓口相談はもとより外部機関からも就職情報を入手して対象学生へ情報を提供し、学生支援課や学生相談室とも連携し、支援している。 外国人留学生に対しては、ガイダンスなどを実施し、国際交流センター室とも連携しながら、留学生の求める進路に対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生委員会、学生相談委員会を設置し、必要に応じて学生に関する事項を協議している。さらに、学生支援課に特別支援室を設け、何らかの障害や疾患などが背景にあってサポートが必要な学生に対して、よりきめ細かい対応を行っている。 学生生活上の個人的諸問題や心理的な悩みの相談に応じる学生相談室を3カ所全てのキャンパス（杣之内キャンパス、体育学部キャンパス、別所キャンパス）に設け、専門のカウンセラー（臨床心理士）が相談に応じている。さらに、医療学部独自で2025年度より別所キャンパスにはメンターを配置している。また、ハラスメントの相談窓口を設け、相談員を配置している。 学生の健康管理のために、杣之内キャンパスに医務室を、体育学部キャンパスと別所キャンパスに保健室を設置している。また、学校保健安全法に従い、定期健康診断を実施している。授業・課外活動などにおいて傷害を被った場合に備え、全学部生が傷害保険と賠償保険に加入している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ https://www.tenri-u.ac.jp/education/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F129310109266
学校名（〇〇大学 等）	天理大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人天理大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		749人（ ）人	749人（ ）人	784人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	562人	541人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	105人	119人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	62人	56人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	20人	33人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－
合計（年間）				786人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	-	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	-	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	19人	人	人
計	31人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	-	人	人
GPA等が下位4分の1	61人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	48人	人	人
計	82人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。